

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資／海外／不動産投資 特化型	
信託期間	2023年6月13日まで（2013年9月20日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際アジア・リート・ファンド（通貨選択型） インド・ルピーコース（毎月決算型）	アジア・リート・マスター・ファンド（I NRクラス）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アジア・リート・マスター・ファンド（I NRクラス）	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資します。 不動産投資信託（リート）等の安定したインカムゲインの確保と、値上がり益、および為替差益の獲得を目指します。 シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行い（以下、不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券（上記の受益証券をいいます。）への投資割合には制限を設けません。 1発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。 	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における1発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における1発行体あたりの構成比率を指します。
 ◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書（全体版）

国際アジア・リート・ファンド（通貨選択型） インド・ルピーコース（毎月決算型）



第80期（決算日：2020年7月13日）
 第81期（決算日：2020年8月13日）
 第82期（決算日：2020年9月14日）
 第83期（決算日：2020年10月13日）
 第84期（決算日：2020年11月13日）
 第85期（決算日：2020年12月14日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）」は、去る12月14日に第85期の決算を行いましたので、法令に基づいて第80期～第85期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当作成期（過去6ヵ月間）の運用で主眼においてポイントをご説明させていただきます。
配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

【第85期末における主なリート市場への投資比率と投資のポイント】

◎シンガポール 69.3%

シンガポール市場は、欧米諸国と比較して新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いていることや、政府による対応策などが講じられていることなどからリート価格も底堅く推移しております。不動産の用途別では、小売りは、オンラインショッピングの脅威はあるものの、その影響は限定的であり、オンラインと共存していくための価値を提供できるショッピングモールが今後成長するとみています。オフィスは、2020年7月に発表された第2四半期国内総生産（GDP）成長率の軟調な結果や、政府や金融当局のGDPに対する慎重な見通しを受けて、GDPとの相関が比較的高い空室率や賃料への短期的な悪影響への懸念や、テレワークの浸透に伴う需要縮小に対する見通しの不透明感が残るものの、長期的にはオフィス中心地にある立地の良いオフィスや広い面積を有するオフィスへの需要は底堅いとみています。産業用施設は、eコマースの台頭などを背景とした物流の需要拡大の恩恵を受けており、なかでも、財務内容の健全性や成長戦略、経営陣の執行能力において優れている大手銘柄を選好します。

◎香港 28.4%

香港市場は、新型コロナウイルスの感染状況が一時期落ち着いていたことや、新型コロナウイルスのワクチン開発などを受けて、リート価格は戻りつつあるものの、依然として、感染状況悪化に対する懸念や同地域の経済成長を巡る不透明感が上値を抑えております。そのため、同国のリート価格は依然として、バリュエーションなどの面で正当化できない割安な水準だとみています。不動産の用途別では、小売りは、反政府デモや新型コロナウイルス感染拡大など小売売上高が短期的に落ち込む困難な状況に直面してきましたが、足下では、状況が落ち着きを取り戻しつつあり、ショッピングモールなどの商業施設の来客数は以前と同水準程度にまで回復してきております。一方、オンラインショッピングの台頭はあるものの、影響はかなり限定的とみております。また、同国のリート市場の時価総額の大半を占める大手小売りリートの2020年11月に発表された半期決算は底堅い内容となりました。オフィスは、短期的な需要後退懸念はあるものの、テレワークが構造的に安定して浸透するとはみておらず、引き続きオフィス需要は底堅いとみております。



イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
エクイティ・インカム・チーム
ポートフォリオ・マネジャー
パーリー・ヤップ

（注）上記の投資比率はアジア・リート・マスター・ファンド全体における対純資産比率です。

（注）上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 額 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分 込 配	み 金 騰 落	中 率						
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円	
56期(2018年7月13日)	7,842	120	1.7	—	—	—	99.0	89,141		
57期(2018年8月13日)	7,687	120	△ 0.4	—	—	—	99.0	84,235		
58期(2018年9月13日)	7,224	120	△ 4.5	—	—	—	99.0	75,713		
59期(2018年10月15日)	6,761	120	△ 4.7	—	—	—	99.0	70,347		
60期(2018年11月13日)	6,921	120	4.1	—	—	—	99.1	72,185		
61期(2018年12月13日)	7,114	120	4.5	—	—	—	99.0	75,542		
62期(2019年1月15日)	7,002	120	0.1	—	—	—	99.0	77,493		
63期(2019年2月13日)	7,326	120	6.3	—	—	—	100.0	98,809		
64期(2019年3月13日)	7,608	120	5.5	—	—	—	98.9	133,725		
65期(2019年4月15日)	7,728	120	3.2	—	—	—	99.0	134,316		
66期(2019年5月13日)	7,416	120	△ 2.5	—	—	—	98.9	127,778		
67期(2019年6月13日)	7,531	120	3.2	—	—	—	99.0	128,385		
68期(2019年7月16日)	7,749	120	4.5	—	—	—	98.9	130,179		
69期(2019年8月13日)	7,066	120	△ 7.3	—	—	—	99.0	117,499		
70期(2019年9月13日)	7,097	120	2.1	—	—	—	98.9	116,886		
71期(2019年10月15日)	7,044	120	0.9	—	—	—	99.0	114,451		
72期(2019年11月13日)	6,743	120	△ 2.6	—	—	—	98.5	108,352		
73期(2019年12月13日)	6,761	120	2.0	—	—	—	98.9	105,373		
74期(2020年1月14日)	6,793	120	2.2	—	—	—	98.9	103,827		
75期(2020年2月13日)	6,755	120	1.2	—	—	—	98.7	99,960		
76期(2020年3月13日)	5,539	120	△16.2	—	—	—	98.8	79,603		
77期(2020年4月13日)	4,719	120	△12.6	—	—	—	98.0	66,762		
78期(2020年5月13日)	4,881	70	4.9	—	—	—	97.8	68,334		
79期(2020年6月15日)	5,067	70	5.2	—	—	—	98.7	66,860		
80期(2020年7月13日)	5,058	70	1.2	—	—	—	99.0	63,572		
81期(2020年8月13日)	4,958	70	△ 0.6	—	—	—	98.7	59,405		
82期(2020年9月14日)	5,006	70	2.4	—	—	—	98.9	57,734		
83期(2020年10月13日)	4,908	70	△ 0.6	—	—	—	99.0	55,020		
84期(2020年11月13日)	4,792	70	△ 0.9	—	—	—	98.7	51,247		
85期(2020年12月14日)	4,831	70	2.3	—	—	—	98.8	49,661		

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率				
第80期	(期 首) 2020年6月15日	円 5,067	% -	% -	% -	% -	% 98.7	% 98.8
	6月末	5,020	△0.9	-	-	-	98.8	98.8
	(期 末) 2020年7月13日	5,128	1.2	-	-	-	99.0	99.0
第81期	(期 首) 2020年7月13日	5,058	-	-	-	-	99.0	99.0
	7月末	4,956	△2.0	-	-	-	98.8	98.8
	(期 末) 2020年8月13日	5,028	△0.6	-	-	-	98.7	98.7
第82期	(期 首) 2020年8月13日	4,958	-	-	-	-	98.7	98.7
	8月末	4,989	0.6	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2020年9月14日	5,076	2.4	-	-	-	98.9	98.9
第83期	(期 首) 2020年9月14日	5,006	-	-	-	-	98.9	98.9
	9月末	4,954	△1.0	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2020年10月13日	4,978	△0.6	-	-	-	99.0	99.0
第84期	(期 首) 2020年10月13日	4,908	-	-	-	-	99.0	99.0
	10月末	4,592	△6.4	-	-	-	98.8	98.8
	(期 末) 2020年11月13日	4,862	△0.9	-	-	-	98.7	98.7
第85期	(期 首) 2020年11月13日	4,792	-	-	-	-	98.7	98.7
	11月末	4,867	1.6	-	-	-	98.6	98.6
	(期 末) 2020年12月14日	4,901	2.3	-	-	-	98.8	98.8

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

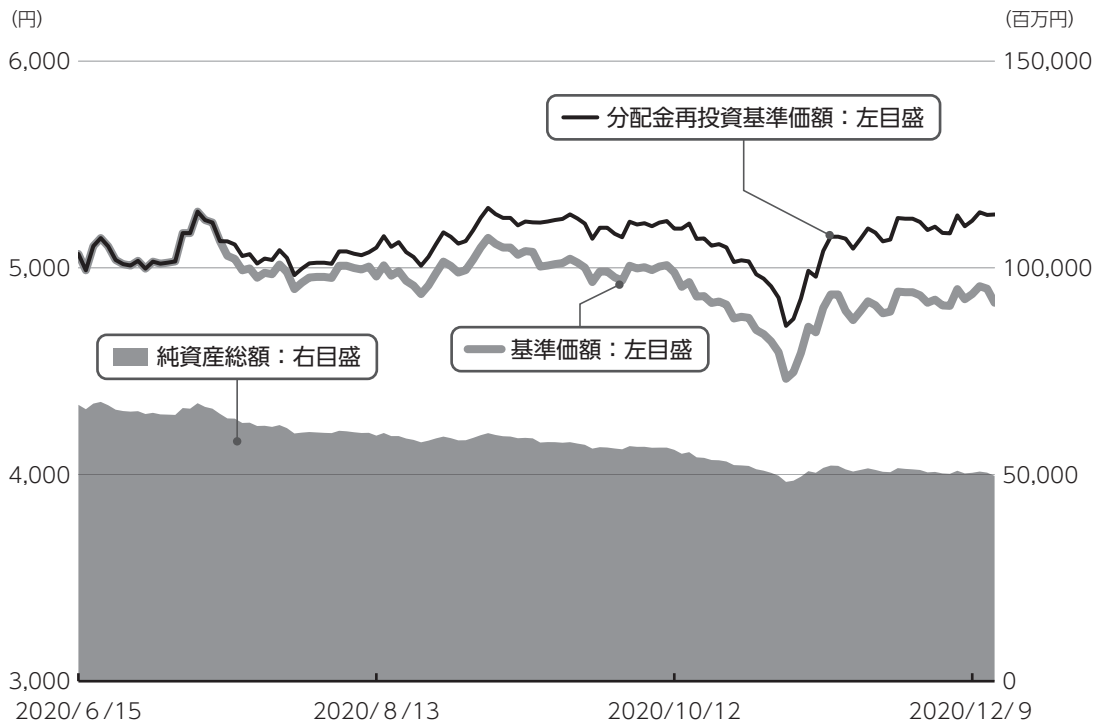
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第80期～第85期：2020年6月16日～2020年12月14日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 80 期 首	5,067円
第 85 期 末	4,831円
既払分配金	420円
騰 落 率	3.8%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

世界的に金融緩和策が実施されたことや、新型コロナウイルスのワクチン開発などを受けた投資家心理の改善を背景に、シンガポールリートの価格が上昇したことが、基準価額のプラスに寄与しました。不動産の用途別では、収益が比較的安定している工業用不動産を有する複合の銘柄が大きく上昇しました。

反政府デモや新型コロナウイルス感染拡大に伴う防疫措置を嫌気する場面があったものの、2020年11月の新型コロナウイルスのワクチン開発を好感し、香港のリート価格が上昇したことが、基準価額のプラスに寄与しました。不動産の用途別では、年初来で出遅れ感のあった小売りやオフィスが買い戻されました。

個別銘柄では、当作成期間に発表された決算が底堅い内容となった、アジア・リート市場で時価総額最大級のリート銘柄である「LINK REIT（香港）」の上昇や、シンガポールやオーストラリアで、物流不動産やビジネスパーク及び、商業用不動産を手掛ける「FRASERS LOGISTICS & COMM（シンガポール）」の上昇などがプラスに寄与しました。

原資産通貨*売り／インド・ルピー買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が、基準価額のプラスに寄与しました。

*投資を行うリート等の通貨を「原資産通貨」といいます。以下同じ。

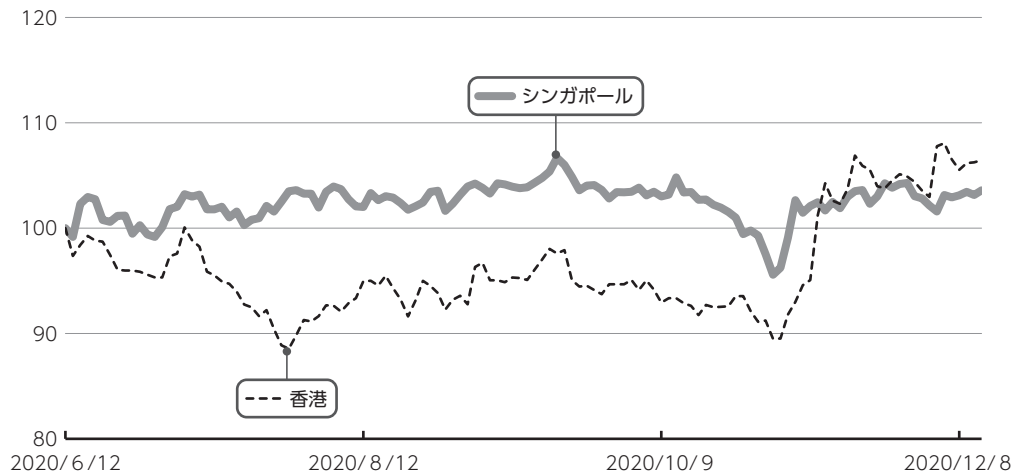
下落要因

インド・ルピーが円に対して下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

第80期～第85期：2020年6月16日～2020年12月14日

投資環境について

アジア・リート市況の推移（当作成期首を100として指数化）



(注) グラフはS & PグローバルREIT指数のうち、上記2ヵ国・地域の各指数（現地通貨建配当込み）を使用しています。

(注) S & PグローバルREIT指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有する各株価指数の採用銘柄の中から、原則として不動産投資信託（REIT）および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。同指数はS & Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S & P DJ I）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。S & P DJ Iは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。

(注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ アジア・リート市況 アジア・リート市場は、当作成期間を通しては上昇しました。

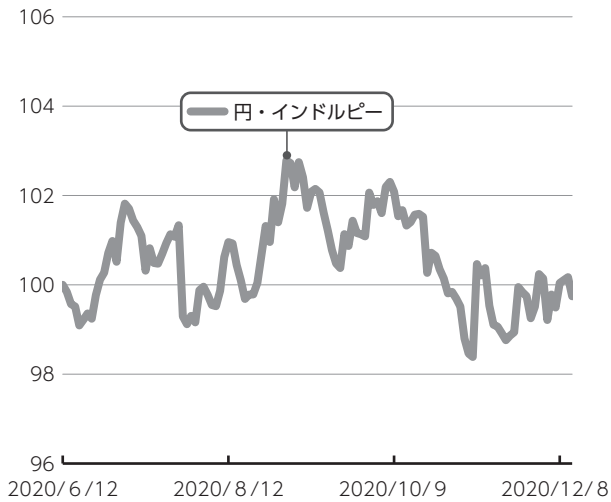
シンガポール市場は上昇しました。欧米諸国と比較して新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いている同国のリート価格は、当作成期首から2020年9月中旬にかけては、底堅く推移したものの、9月中旬から10月末にかけては、欧米を中心に新型コロナウイルスの感染者数拡

大のペースが加速したことや、米大統領選挙への警戒感などからリスク回避の動きが強まる中、下落しました。その後は、米大統領選において民主党のバイデン氏が勝利宣言をし、選挙結果を巡る不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスのワクチンにおいて良好な治験結果が相次いで発表され、一部地域で接種が始まったことを好感し、年初より落ち込んでいたホテルや景気感応度が比較的高い

小売りを中心に大きく上昇しました。
香港市場は、当作成期首から2020年10月末にかけて、国内の反政府デモ及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴う防疫措置や、欧米諸国の新型コロナウイルス

感染再拡大を受けた投資家心理の悪化を背景に軟調に推移しました。その後は新型コロナウイルスのワクチン開発を好感し、出遅れ感のあった小売りやオフィスを中心に大きく上昇しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



（注）現地日付ベースで記載しております。

▶ 為替市況 当作成期間を通してみると、インドルピーは対円で下落しました。

当作成期首から2020年9月上旬にかけては、インド国内の新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念などはあったものの、株式市場への資金流入や、インド準備銀行（RBI）によるインドルピー売り介入が一時期控えられていたことなどを受けて、インドルピーは対円で上昇しました。その後は、欧米を中心に新型コロナウイルスの感染が再拡大したことや、同国のロックダウンの延長などを受けて、インドルピーは対円で下落しました。また、RBIによるインドルピー売り介入が継続して実施されていたことなども上値を抑える要因となりました。

▶ 国内短期金融市場 無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調

整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.028%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）

当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

当作成期末においては、アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）を98.8%、マネー・プール マザーファンドを0.0%組み入れています。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）

主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。

国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

また、「CAPITALAND MALL TRUST（シンガポール）」は、当作成期中の「CAPITALAND COMMERCIAL TR（シンガポール）」との合併を受けて、「CAPITALAND INTEGRATED CO（シンガポール）」へと銘柄名称が変更して

おります。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

売買動向

LINK REIT（香港）：香港や中国で地元住民向けのショッピング・モールなどを手掛ける当該銘柄に関して、底堅い業績やバランスシートの健全性及び、足下のショッピングモールなどの商業施設の来客数回復を評価する一方、その堅調なファンダメンタルズに対して当該銘柄の投資口価格が割安な水準であり相対的に投資妙味があると判断し、一部買付を行いました。

FRASERS CENTREPOINT TRUS（シンガポール）：当作成期において価格が大きく上昇したところで利益を確定するために、一部売却を行いました。

組み入れる原資産通貨に対して、原資産通貨を実質的にインド・ルピー建となるように原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第80期 2020年6月16日～ 2020年7月13日	第81期 2020年7月14日～ 2020年8月13日	第82期 2020年8月14日～ 2020年9月14日	第83期 2020年9月15日～ 2020年10月13日	第84期 2020年10月14日～ 2020年11月13日	第85期 2020年11月14日～ 2020年12月14日
当期分配金 （対基準価額比率）	70 (1.365%)	70 (1.392%)	70 (1.379%)	70 (1.406%)	70 (1.440%)	70 (1.428%)
当期の収益	35	33	35	30	27	33
当期の収益以外	34	36	35	39	43	36
翌期繰越分配対象額	2,009	1,973	1,939	1,899	1,857	1,820

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）

引き続き、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）

引き続き、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資を行います。

原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、市場価格が個別銘柄の適正価格を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを重視する方針です。

足下のアジア・リート市場は、新型コロナウイルスワクチンの一部地域での接種が始まったことや、その他地域でも供給開始の目途がたったことなどを受けて、ワクチン普及による世界経済の正常化期待などを背景に、世界の金融市場が徐々に

に落ち着きを取り戻す中で投資家心理が改善しつつあります。

シンガポールは、欧米諸国と比べると新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いていることや、政府による対応策などが講じられたため、シンガポールのリート市場は相対的に底堅く推移しています。また、テクノロジー企業の誘致や新しい拠点のエリアとして期待されており、オフィス市場はこうした恩恵を享受できると期待されます。不動産の用途別では、小売りやホテルの事業環境を慎重にみている一方、オフィスについては、新型コロナウイルスの直接的な影響を受けにくく底堅いとみています。また、産業用施設は、短期的にはサプライチェーンへの影響などが懸念されるものの、中長期的にはeコマースの台頭などを背景とした物流の需要拡大が期待されます。実物不動産市場に関しては、中長期的には優良オフィス不動産を中心にテナントの需要が底堅いことや、今後予定されている不動産の供給量が例年と比べて限定的であることなどから、不動産ファンダメンタルズは底堅いとみています。引き続き、配当利回りの水準が国債利回りや他のグローバル・リート市場との比較で相対的に魅力的な水準にあることなどに注目しています。

香港については、郊外に立地し生活必需品が取扱商品の中心である商業施設を主要投資対象とする銘柄を有望とみています。新型コロナウイルスの感染拡大や経済成長を巡る不透明感などが、短期的に香港の小売売上高やリートの上値を抑える要因となっていましたが、足下では、状況が落ち着きを取り戻しつつあり、ショッピングモール等の商業施設の来客数は以前と同水準程度にまで回復してきております。最大手リートが保有する小売り物件は地元顧客向けのスーパーマーケット等が中心であるため、外国人観光客の落ち込みを受けた業績への影響等は相対的に限定的とみています。

今後も、市場価格が個別銘柄の価値を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを分析し、ポートフォリオを構築する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2020年6月16日～2020年12月14日

1万口当たりの費用明細

項目	第80期～第85期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	31	0.621	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(10)	(0.192)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	31	0.627	

作成期中の平均基準価額は、4,940円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

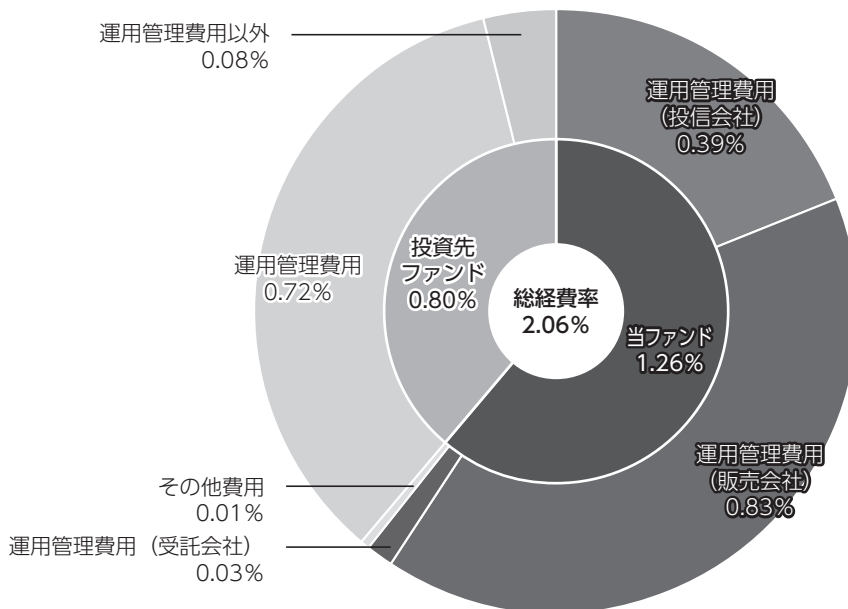
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.06%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.06
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.08

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月14日)

投資信託証券

銘柄		第80期～第85期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）	千口	千円	千口	千円
		5,176,790	2,765,643	36,153,087	19,577,800

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第79期末	第85期末		比率
		口数	口数	評価額	
	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）	千口	千口	千円	%
		121,176,559	90,200,263	49,041,883	98.8
合	計	121,176,559	90,200,263	49,041,883	98.8

(注) 比率は国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第79期末	第85期末	
		口数	口数	評価額
	マネー・プール マザーファンド	千口	千口	千円
		99	99	100

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項 目	第85期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 49,041,883	% 96.5
マネー・プール マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	1,769,732	3.5
投資信託財産総額	50,811,715	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末
	2020年7月13日現在	2020年8月13日現在	2020年9月14日現在	2020年10月13日現在	2020年11月13日現在	2020年12月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	65,237,184,201	60,661,064,275	59,063,331,413	56,272,623,666	52,271,863,647	50,811,715,209
コール・ローン等	1,976,119,251	1,737,973,915	1,704,681,185	1,493,756,595	1,445,476,699	1,541,992,140
投資信託受益証券(評価額)	62,922,864,940	58,662,550,350	57,071,520,218	54,462,857,061	50,561,066,938	49,041,883,059
マネー・プール マザーファンド(評価額)	100,010	100,010	100,010	100,010	100,010	100,010
未収入金	338,100,000	260,440,000	287,030,000	315,910,000	265,220,000	227,740,000
(B) 負債	1,664,454,027	1,255,667,058	1,328,968,430	1,252,599,527	1,024,434,846	1,150,393,035
未払収益分配金	879,771,417	838,682,723	807,269,206	784,684,606	748,615,622	719,559,558
未払解約金	721,491,890	351,889,873	456,901,447	411,167,941	220,759,736	376,729,743
未払信託報酬	62,635,304	64,522,418	64,226,333	56,248,521	54,575,537	53,627,921
未払利息	1,133	1,059	3,083	694	992	1,240
その他未払費用	554,283	570,985	568,361	497,765	482,959	474,573
(C) 純資産総額(A-B)	63,572,730,174	59,405,397,217	57,734,362,983	55,020,024,139	51,247,428,801	49,661,322,174
元本	125,681,631,102	119,811,817,689	115,324,172,418	112,097,800,952	106,945,088,978	102,794,222,651
次期繰越損益金	△ 62,108,900,928	△ 60,406,420,472	△ 57,589,809,435	△ 57,077,776,813	△ 55,697,660,177	△ 53,132,900,477
(D) 受益権総口数	125,681,631,102口	119,811,817,689口	115,324,172,418口	112,097,800,952口	106,945,088,978口	102,794,222,651口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,058円	4,958円	5,006円	4,908円	4,792円	4,831円

○損益の状況

項 目	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期
	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	485,594,870	468,602,148	431,051,562	396,309,720	351,092,900	358,806,607
受取配当金	485,627,479	468,628,177	431,090,778	396,324,229	351,108,587	358,822,364
受取利息	2,440	391	120	—	—	278
支払利息	△ 35,049	△ 26,420	△ 39,336	△ 14,509	△ 15,687	△ 16,035
(B) 有価証券売買損益	340,084,037	△ 755,516,938	992,828,167	△ 652,717,340	△ 787,973,083	815,850,901
売買益	2,103,821,568	1,161,863,736	1,058,992,457	357,836,067	510,759,483	1,291,795,737
売買損	△ 1,763,737,531	△ 1,917,380,674	△ 66,164,290	△ 1,010,553,407	△ 1,298,732,566	△ 475,944,836
(C) 信託報酬等	△ 63,189,587	△ 65,093,403	△ 64,794,694	△ 56,746,286	△ 55,058,496	△ 54,102,494
(D) 当期繰損益金(A+B+C)	762,489,320	△ 352,008,193	1,359,085,035	△ 313,153,906	△ 491,938,679	1,120,555,014
(E) 前期繰越繰損益金	△27,888,124,353	△26,016,470,950	△25,631,431,227	△23,822,478,435	△23,261,254,739	△22,968,734,276
(F) 追加信託差損益金	△34,103,494,478	△33,199,258,606	△32,510,194,037	△32,157,459,866	△31,195,851,137	△30,565,161,657
(配当等相当額)	(25,676,434,491)	(24,070,574,327)	(22,754,432,901)	(21,725,722,761)	(20,310,097,596)	(19,080,449,589)
(売買損益相当額)	(△59,779,928,969)	(△57,269,832,933)	(△55,264,626,938)	(△53,883,182,627)	(△51,505,948,733)	(△49,645,611,246)
(G) 計(D+E+F)	△61,229,129,511	△59,567,737,749	△56,782,540,229	△56,293,092,207	△54,949,044,555	△52,413,340,919
(H) 収益分配金	△ 879,771,417	△ 838,682,723	△ 807,269,206	△ 784,684,606	△ 748,615,622	△ 719,559,558
次期繰越繰損益金(G+H)	△62,108,900,928	△60,406,420,472	△57,589,809,435	△57,077,776,813	△55,697,660,177	△53,132,900,477
追加信託差損益金	△34,530,812,024	△33,630,581,149	△32,913,828,640	△32,594,641,290	△31,655,715,019	△30,935,220,858
(配当等相当額)	(25,249,116,945)	(23,639,251,784)	(22,350,798,298)	(21,288,541,337)	(19,850,233,714)	(18,710,390,388)
(売買損益相当額)	(△59,779,928,969)	(△57,269,832,933)	(△55,264,626,938)	(△53,883,182,627)	(△51,505,948,733)	(△49,645,611,246)
分配準備積立金	8,110,366	3,799,679	11,440,882	3,105,411	10,233,095	2,554,238
繰越損益金	△27,586,199,270	△26,779,639,002	△24,687,421,677	△24,486,240,934	△24,052,178,253	△22,200,233,857

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 131,941,201,376円

 作成期中追加設定元本額 5,189,436,751円

 作成期中一部解約元本額 34,336,415,476円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4831円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は53,132,900,477円です。

③分配金の計算過程

項 目	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日
費用控除後の配当等収益額	448,433,074円	403,508,745円	411,438,208円	339,563,434円	296,034,404円	342,278,295円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	25,676,434,491円	24,070,574,327円	22,754,432,901円	21,725,722,761円	20,310,097,596円	19,080,449,589円
分配準備積立金額	12,131,163円	7,651,114円	3,637,277円	11,045,159円	2,950,431円	9,776,300円
当ファンドの分配対象収益額	26,136,998,728円	24,481,734,186円	23,169,508,386円	22,076,331,354円	20,609,082,431円	19,432,504,184円
1万口当たり収益分配対象額	2,079円	2,043円	2,009円	1,969円	1,927円	1,890円
1万口当たり分配金額	70円	70円	70円	70円	70円	70円
収益分配金金額	879,771,417円	838,682,723円	807,269,206円	784,684,606円	748,615,622円	719,559,558円

○分配金のお知らせ

	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期
1 万口当たり分配金（税込み）	70円	70円	70円	70円	70円	70円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）
運用方針及び投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行います。 ・不動産投資信託（リート）等の組入比率は原則として高位を保ちます。 2. シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行います（以下、投資先ファンドが投資を行う不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）。アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）における為替取引は、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。 3. 投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。 4. 1発行体等あたりの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。
投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド (Eastspring Investments (Singapore) Limited)
信託期限	無期限
設 定 日	2013年9月20日
会 計 年 度 末	毎年8月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド」について
イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、1994年10月にシンガポールにおいて設立された運用会社です。グローバルに金融サービスを展開する英国ブルーデンシャル社のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ・グループに所属しており、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行っています。

アジア・リート・マスター・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2019年8月30日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益

受取配当金（源泉徴収税控除後）	\$	53,987,983
受取利息		4,193
投資収益合計		53,992,176

費用

運用受託報酬		6,344,254
会計処理および管理手数料		967,674
通貨管理代行手数料		778,563
保管費用		716,745
名義書換事務代行手数料		129,918
専門家報酬		39,357
受託者報酬		23,145
登録料		2,231
その他の手数料		3,461
費用合計		9,005,348

投資純利益 44,986,828

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券		57,040,563
外国通貨取引および為替予約取引		37,028,659
実現純損益		94,069,222

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券		51,696,125
外国通貨取引および為替予約取引		6,862,861
未実現評価損益の純変動		58,558,986

実現および未実現損益（純額） 152,628,208

運用による純資産の増減（純額） \$ 197,615,036

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2019年8月30日に終了する期間)

(米ドルで表示)

運用による純資産の増減額:

投資純損益	\$	44,986,828
実現純損益		94,069,222
未実現評価損益の純変動		58,558,986
運用による純資産の増減額		197,615,036
分配額		(162,120,283)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額		525,552,095
純資産の増減額		561,046,848
純資産		
期首		783,498,660
期末	\$	1,344,545,508

	IDRクラス	INRクラス	JPYクラス
ファンドユニット取引			
ユニット数			
発行	2,690,823,195	75,294,898,734	4,503,801,464
買戻し	392,093,731	20,321,689,490	543,173,539
償還	(981,503,966)	(44,245,491,329)	(1,300,071,518)
ユニット増減数	2,101,412,960	51,371,096,895	3,746,903,485
金額			
発行	\$ 18,709,748	\$ 477,002,806	\$ 33,107,008
買戻し	2,718,813	132,309,105	4,079,548
償還	(6,832,681)	(285,204,134)	(9,625,099)
ファンドユニット取引による増減額	\$ 14,595,880	\$ 324,107,777	\$ 27,561,457

Local Currency クラス

ファンドユニット取引	
ユニット数	
発行	19,827,232,728
買戻し	2,614,298,482
償還	(4,226,040,857)
ユニット増減数	18,215,490,353
金額	
発行	\$ 173,196,277
買戻し	23,012,817
償還	(36,922,113)
ファンドユニット取引による増減額	\$ 159,286,981

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2019年8月30日現在)

(米ドルで表示)

投資口数	銘柄名	純資産比率	公正価値
	COMMON STOCKS (97.0%)		
	HONG KONG (18.4%)		
	REITS* (18.4%)		
33,554,000	Champion	\$	22,611,003
40,056,000	Fortune		46,009,942
14,783,000	Link		166,030,107
33,101,000	Prosperity		12,293,504
			<u>246,944,556</u>
	TOTAL HONG KONG (Cost \$230,132,307)		<u>246,944,556</u>
	MALAYSIA (1.9%)		
	REITS* (1.9%)		
26,285,900	Pavilion		11,688,178
30,908,300	Sunway		14,331,515
			<u>26,019,693</u>
	TOTAL MALAYSIA (Cost \$24,692,417)		<u>26,019,693</u>
	SINGAPORE (76.7%)		
	REITS* (76.7%)		
59,957,686	Ascendas		133,124,043
15,601,000	Ascendas India Trust		16,082,346
25,772,800	Ascott Residence Trust		24,152,710
44,535,716	Cache Logistics Trust		22,954,900
64,591,446	CapitaLand Commercial Trust		99,178,042
67,017,900	CapitaMall Trust		128,025,833
36,642,674	CapitaRetail China Trust		40,943,011
33,142,020	CDL Hospitality Trusts Class Miscella		38,226,090
21,339,000	Eagle Hospitality Trust		14,403,825
26,850,439	ESR		9,871,485
13,151,284	Frasers Centrepoint Trust		26,071,245
45,408,860	Frasers Logistics & Industrial Trust		39,935,704
46,005,031	Keppel		40,791,658
54,116,982	Manulife US		49,246,454
22,236,270	Mapletree Commercial Trust		36,547,503
21,469,888	Mapletree Industrial Trust		35,752,192
49,447,637	Mapletree Logistics Trust		55,963,661
66,469,800	Mapletree North Asia Commercial Trust		63,249,810
62,176,319	OUE Hospitality Trust Class Miscella		32,719,660
9,139,800	Parkway Life		20,358,984
49,119,100	Starhill Global		26,556,607
55,549,500	Suntec		77,285,564
			<u>1,031,441,327</u>
	TOTAL SINGAPORE (Cost \$955,037,364)		<u>1,031,441,327</u>
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$1,209,862,088)		<u>\$ 1,304,405,576</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost \$1,209,862,088)	97.0%	\$ 1,304,405,576
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	3.0	40,139,932
	NET ASSETS	<u>100.0%</u>	<u>\$ 1,344,545,508</u>

* REITS — Real Estate Investment Trust

(2019年8月30日現在)

IDRクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
HKD	Credit Suisse AG	5,545	09/30/2019	USD	707	\$ 1	\$ -	\$ 1
HKD	Credit Suisse AG	8,417	09/30/2019	USD	1,075	-	(1)	(1)
IDR	Credit Suisse AG	36,513,204	09/30/2019	USD	2,554	13	-	13
IDR	Credit Suisse AG	8,105,404	09/30/2019	USD	567	2	-	2
IDR	Credit Suisse AG	428,780,127,542	09/30/2019	USD	30,053,480	87,761	-	87,761
IDR	Credit Suisse AG	6,758,808	09/30/2019	USD	473	2	-	2
SGD	Credit Suisse AG	3,634	09/30/2019	USD	2,623	-	(3)	(3)
SGD	Credit Suisse AG	5,524	09/30/2019	USD	3,989	-	(6)	(6)
	Brown Brothers							
USD	Harriman & Co.	559,184	09/30/2019	MYR	2,355,116	-	(542)	(542)
USD	Credit Suisse AG	5,446	09/30/2019	IDR	77,684,604	-	(15)	(15)
USD	Credit Suisse AG	3,582	09/30/2019	IDR	51,322,116	-	(26)	(26)
USD	Credit Suisse AG	93	09/30/2019	HKD	733	-	-	-*
USD	Credit Suisse AG	5,935,562	09/30/2019	HKD	46,552,644	-	(6,112)	(6,112)
USD	Credit Suisse AG	112	09/30/2019	HKD	880	-	-	-*
USD	Credit Suisse AG	346	09/30/2019	SGD	481	-	(1)	(1)
USD	Credit Suisse AG	1,871	09/30/2019	SGD	2,598	-	(3)	(3)
USD	Credit Suisse AG	416	09/30/2019	SGD	577	-	(1)	(1)
USD	Credit Suisse AG	22,014,174	09/30/2019	SGD	30,483,335	32,908	-	32,908
USD	Credit Suisse AG	504	09/30/2019	HKD	3,959	-	(1)	(1)
						\$ 120,687	\$ (6,711)	\$ 113,976

INRクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
HKD	Credit Suisse AG	1,380,331	09/30/2019	USD	176,114	\$ 63	\$ -	\$ 63
HKD	Credit Suisse AG	741,397	09/30/2019	USD	94,735	-	(108)	(108)
HKD	Credit Suisse AG	961,523	09/30/2019	USD	122,651	71	-	71
HKD	Credit Suisse AG	543,076	09/30/2019	USD	69,283	32	-	32
HKD	Credit Suisse AG	828,492	09/30/2019	USD	105,698	45	-	45
INR	Credit Suisse AG	79,996,194,858	09/30/2019	USD	1,111,552,231	5,602,827	-	5,602,827
SGD	Credit Suisse AG	630,168	09/30/2019	USD	454,896	-	(487)	(487)
SGD	Credit Suisse AG	905,747	09/30/2019	USD	653,182	-	(55)	(55)
SGD	Credit Suisse AG	356,353	09/30/2019	USD	256,960	2	-	2
SGD	Credit Suisse AG	543,420	09/30/2019	USD	392,020	-	(165)	(165)
SGD	Credit Suisse AG	486,568	09/30/2019	USD	351,361	-	(500)	(500)
	Brown Brothers							
USD	Harriman & Co.	20,309,955	09/30/2019	MYR	85,539,438	-	(19,694)	(19,694)
USD	Credit Suisse AG	814,212,009	09/30/2019	SGD	1,127,450,744	1,217,120	-	1,217,120
USD	Credit Suisse AG	219,531,566	09/30/2019	HKD	1,721,787,112	-	(226,055)	(226,055)
USD	Credit Suisse AG	350,799	09/30/2019	INR	25,218,516	-	(1,380)	(1,380)
USD	Credit Suisse AG	891,716	09/30/2019	INR	64,380,471	-	(7,364)	(7,364)
USD	Credit Suisse AG	621,018	09/30/2019	INR	44,795,848	-	(4,561)	(4,561)
USD	Credit Suisse AG	479,673	09/30/2019	INR	34,521,705	-	(2,426)	(2,426)
USD	Credit Suisse AG	535,181	09/30/2019	INR	38,679,384	-	(4,981)	(4,981)
						\$ 6,820,160	\$ (267,776)	\$ 6,552,384

(2019年8月30日現在)

JPYクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
HKD	Credit Suisse AG	8,272	09/30/2019	USD	1,057	\$ -	\$ (1)	\$ (1)
HKD	Credit Suisse AG	91,059	09/30/2019	USD	11,615	7	-	7
HKD	Credit Suisse AG	997,275	09/30/2019	USD	127,227	58	-	58
HKD	Credit Suisse AG	399,093	09/30/2019	USD	50,916	22	-	22
JPY	Credit Suisse AG	4,533,833,799	09/30/2019	USD	42,889,091	-	(93,279)	(93,279)
JPY	Credit Suisse AG	4,464,649	09/30/2019	USD	42,274	-	(131)	(131)
SGD	Credit Suisse AG	59,679	09/30/2019	USD	43,080	-	(46)	(46)
SGD	Credit Suisse AG	5,429	09/30/2019	USD	3,920	-	(6)	(6)
SGD	Credit Suisse AG	261,771	09/30/2019	USD	188,840	-	(79)	(79)
SGD	Credit Suisse AG	654,386	09/30/2019	USD	471,868	4	-	4
	Brown Brothers							
USD	Harriman & Co.	819,672	09/30/2019	MYR	3,452,214	\$ -	\$ (795)	\$ (795)
USD	Credit Suisse AG	8,470,595	09/30/2019	HKD	66,434,920	-	(8,722)	(8,722)
USD	Credit Suisse AG	257,802	09/30/2019	JPY	27,271,840	378	-	378
USD	Credit Suisse AG	31,416,259	09/30/2019	SGD	43,502,533	46,962	-	46,962
USD	Credit Suisse AG	8,349	09/30/2019	HKD	65,535	-	(15)	(15)
USD	Credit Suisse AG	5,352	09/30/2019	JPY	568,219	-	(12)	(12)
USD	Credit Suisse AG	58,812	09/30/2019	JPY	6,252,023	-	(202)	(202)
USD	Credit Suisse AG	644,188	09/30/2019	JPY	68,112,982	1,255	-	1,255
USD	Credit Suisse AG	30,965	09/30/2019	SGD	43,013	-	(51)	(51)
						<u>\$ 48,686</u>	<u>\$ (103,339)</u>	<u>\$ (54,653)</u>

*Net Unrealized Gain/(Loss) is less than \$1.

デリバティブ商品の額

店頭デリバティブ 為替予約	取引相手	デリバティブ		受取担保金*	差入担保金*	純額**
		資産の額	負債の額			
	Brown Brothers					
	Harriman & Co.	\$ -	\$ (21,031)	\$ -	\$ -	\$ (21,031)
	Credit Suisse AG	6,989,533	(356,795)	-	-	6,632,738
マスターネットティング契約の 対象となるデリバティブ合計		<u>\$ 6,989,533</u>	<u>\$ (377,826)</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ 6,611,707</u>

資産および負債における
店頭デリバティブ合計\$ 6,989,533 \$ (377,826)

* Actual collateral received or pledged, if any, may be more than disclosed in the table above.

** Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

HKD	-	Hong Kong Dollar
IDR	-	Indonesian Rupiah
INR	-	Indian Rupee
JPY	-	Japanese Yen
MYR	-	Malaysian Ringgit
SGD	-	Singapore Dollar
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第22期》決算日2020年7月14日

[計算期間：2020年1月15日～2020年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第22期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純総資産額
		期騰	落中率					
	円		%		%			百万円
18期(2018年7月17日)	10,044		△0.0		—		—	210
19期(2019年1月15日)	10,043		△0.0		—		—	159
20期(2019年7月16日)	10,042		△0.0		—		—	147
21期(2020年1月14日)	10,041		△0.0		—		—	130
22期(2020年7月14日)	10,041		0.0		—		—	117

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	券率	債先物比率	券率
		騰	落率				
(期首)	円		%		%		%
2020年1月14日	10,041		—		—		—
1月末	10,041		0.0		—		—
2月末	10,041		0.0		—		—
3月末	10,041		0.0		—		—
4月末	10,041		0.0		—		—
5月末	10,041		0.0		—		—
6月末	10,041		0.0		—		—
(期末)							
2020年7月14日	10,041		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

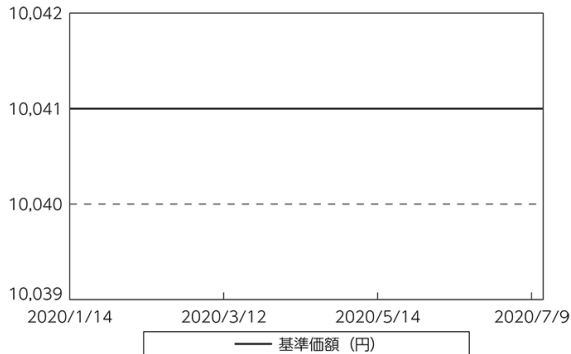
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額にプラスに寄与しました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用が、基準価額にマイナスに作用しました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年7月14日のコール・レートは-0.017%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年1月15日～2020年7月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年1月15日～2020年7月14日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 12,299,993	千円 12,299,994

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月15日～2020年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月14日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 84.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2020年7月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 99,999	% 84.9
コール・ローン等、その他	17,777	15.1
投資信託財産総額	117,776	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月14日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	117,776,541
コール・ローン等	17,776,594
其他有価証券(評価額)	99,999,947
(B) 負債	3,581
未払解約金	3,572
未払利息	9
(C) 純資産総額(A-B)	117,772,960
元本	117,291,588
次期繰越損益金	481,372
(D) 受益権総口数	117,291,588口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,041円

<注記事項>

- ①期首元本額 130,172,909円
 期中追加設定元本額 5,915,947円
 期中一部解約元本額 18,797,268円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0041円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	65,831,543円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドV(年2回決算型)	11,480,760円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	3,242,983円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,800,989円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月決算型)	1,608,548円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
マナー・プール・ファンドIV	976,425円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
エマージング社債オープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
エマージング社債オープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルビーカーコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ユーロコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円

○損益の状況 (2020年1月15日~2020年7月14日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,852
受取利息	513
支払利息	△ 3,365
(B) 当期損益金(A)	△ 2,852
(C) 前期繰越損益金	537,027
(D) 追加信託差損益金	24,188
(E) 解約差損益金	△ 76,991
(F) 計(B+C+D+E)	481,372
次期繰越損益金(F)	481,372

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999円
合計	117,291,588円